

第98回（2022年度）日本選手権水泳競技大会〔アーティスティックスイミング競技〕  
監督者会議資料

公益財団法人 日本水泳連盟  
競技委員長 鈴木 浩二  
A S 委員長 本間 三和子

1 新型コロナウイルス感染拡大防止について

- (1) 本大会は日本水泳連盟が定めた「水泳競技会の再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」を順守し、事前申請により大会関係者およびクラブ関係者にADカード(大会身分証)を発行し、競技日程により入退場規制を行う。ADカードを所持しない一般の方の水泳場内への入場・観戦はできない。
- (2) 大会参加者は、二次要項の「大会の参加に当たって」【別紙1】を順守すること。本大会では更なる感染拡大防止対策を講じる場合がある。施設内では、係員の指示に従うこと。
- (3) 大会関係者およびクラブ関係者は、大会ホームページ(以下HPという)からダウンロードした「健康チェック表」を毎日提出すること。また、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)を活用できるように準備している場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。尚、個人所有の携帯端末の諸事情によりインストール不能な場合はこの限りではない。
- (4) 大会期間中は徹底した感染拡大防止対策に努め、自宅～大会会場～宿舍の移動のみとし、外出は控えること。

2 資格の確認、出場順の抽選、登録情報の確認について

- (1) 申込者全員の資格確認済
- (2) 出場順の抽選は4月30日(土)13:00より行う。暫定スタートリストは16:00を目途に「SEIKO アーティスティックスイミング・リザルト速報サービス2022年」で公開する。
- (3) 監督者会議に予定していたプログラムの訂正、SEIKO リザルトシステムの登録情報の確認について、4月30日(土)公式練習時間内にビジョンボックスから受け取り、17:45閉場時間までに受付に設置したボックスへ投函すること。
- (4) 監督者会議資料は、4月30日(土)13:00を目途にHPに公開する。予めチーム責任者に通知したメールアドレスにて、17:00まで質疑を受け付け、Q&Aとして18:00を目途にHPに公開する。質疑がない場合の公開はない。
- (5) エントリー時に補欠登録をしたデュエット種目、およびチーム種目、フリーコンビネーション、ハイライトルーティンについては、メンバー変更の有無に関わらず競技開始2時間前(エントリー締切時刻)までに、最終エントリーを所定の用紙でエントリーボックスに提出すること。エントリーボックスは2階選手受付に設置する。
- (6) 棄権する場合は、競技開始2時間前(エントリー締切時刻)までに、所定の用紙をエントリーボックスに投函すること。以後、やむを得ず棄権する場合、速やかにレフリーに書面で届け出ること。
- (7) 「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について」に掲載の通り、発熱の発症等により、会場へ入場不可または出場できなくなった場合は文書で証明された場合のみ特別措置が認められる。4月30日(土)以降は、発症した時点で直ちに「特別措置申請書(棄権申請)」「特別措置申請書(エントリー申請)」を書面でレフリーに提出すること。

3 ドーピングコントロールについて

- (1) 本大会は、JADAによるドーピング検査の対象となるため、常にADカードを携帯すること
- (2) 本大会におけるドーピング検査については【別紙2】、およびアンチドーピングについては大

会HPに公開された資料および下記サイトを確認すること。

【HP アップ資料】

JADA 本大会のドーピングについて【別紙 2】

JADA ホームページ掲載資料一覧

(公財)日本水泳連盟 アンチドーピング

<https://swim.or.jp/anti-doping/>

4 競技について

- (1) 本大会は、(公財)日本水泳連盟諸規則および本大会競技要項に基づいて行う。安全・感染防止を最優先とし、大会を円滑に進行させることを目的として、競技規則を一部変更して実施することがある。
- (2) 本大会は、全ての競技について映像で記録する。
- (3) 全て単独のイベント(競技)として決勝のみとし、予選は行わない。
- (4) 全ての競技は、100 点満点とする。
- (5) 競技時間についてはホームページ掲載の別紙参照。競技進行状況により、競技時間・練習時間に変更がある場合は場内で告知する。入場時間に変更がある場合は、受付にて案内する。
- (6) 開会式、開始式は行なわず、開式通告のみとする。
- (7) プレスイマーはおかない。
- (8) JAPAN チームがソロテクニカル、ソロフリー、デュエットテクニカル (2 組)、デュエットフリー、チームテクニカル、チームフリー、フリーコンビネーションにオープン出場する予定。出場順抽選には含むが、ランキングには含まない。なお、デュエットテクニカル 2 組のうち 1 組はミックスデュエット規定要素を用いることから、デュエットテクニカルセッションの最終順に出場する。
- (9) 本大会は、上訴審判団を設置する。
- (10) 本大会は、全日程を通じて競技中に発生した事項に関する抗議は、その競技終了後に発表される正式結果の時刻から 30 分以内にクラブ代表コーチが、抗議書を審判長 (レフリー) に提出する。

5 表彰について

- (1) 表彰式は各種目とも正式結果発表後、ステージ上で行う。
- (2) 各種目 1 位～3 位にメダルならびに賞状を授与し表彰する。4 位～8 位は賞状を授与する。(実際に泳いだ選手にのみ賞状・メダルを授与する)
- (3) 賞状の受け渡しは表彰式後に選手受付で行う。
- (4) 選手の所属が複数ある場合においても、競技会ではひとつの所属を選択して出場すること。表彰式では、種目ごとに異なる所属のウェアを着用してはならない。

6 会場について

- (1) AD カードは来場初日にレストラン側役員受付で配布する。AD カードを持っている、選手・付添・コーチ、大会関係者、およびクラブ関係者席 AD カードを事前申請した者以外は入館できない。また、5 月 1 日(日)以降、観覧席入場ゲートは AD カードを提示しないと入場できない。4 月 30 日(土)公式練習日に来場できないクラブは、予めレストラン側役員受付で AD カードを受け取り観客席入場ゲートへ移動すること。
- (2) 館内にいるときは、AD カードを常時首から下げて着用すること。また入退館に際しては、AD カードを提示し、係員の指示に従うこと。紛失した場合は、有償 (3,000 円) にて再発行を受けること。
- (3) 5 月 1 日(日)以降、1 階からは入退場できない。  
選手・コーチ・付添の入退場は 2 階観覧席からとする。2 階入場ゲートを入れてまっすぐ進み、奥左手 6 番入場口より入場する。事前申請のあったクラブ関係者は入場ゲート入ってすぐの 2 番入場口より入場する。プールに向かって右側が選手・コーチ・付添席、中央が日水連関係者

- 席、左側がクラブ関係者席とする。
- (4) 大会会場への入場開始時間を開場、最終退場時間を閉場とし、プールエリアへの入場・退場時間と合わせて日程表に記載する。開場時の入場は、その日の競技に出場する選手と付添を最優先とし、規制入場とする。
  - (5) プールサイド・更衣室の使用は、競技順により制限する。プールエリアへの入場・退場時間は日程表に記載。当日競技に出場しない選手は、観覧席待機のみとし、プールサイド・更衣室の使用は出来ない。
  - (6) ダイビングプール裏側、プールエリアへの通行口において、入場種目毎に指定された選手ADカードの色シールを確認する。2階観覧席と1階プールへの移動階段は、片側通行とする。
  - (7) 選手は、自分の競技終了後、なるべく速やかに退場すること。ミーティング等は控えること。
  - (8) 入館前に、手指消毒をし、検温を受けること。入館時の検温で 37.5 以上あった場合は、別の場所で再度検温を行う。その結果、37.5 度以上あった場合は、入館することができない。**COVID-19 Officer** の指示に従うこと。入館時の判断基準は【別紙3】参照。  
再入館する際も、手指消毒・検温を受けること。
  - (9) 「健康チェック表」の提出について
    - ① HP からダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。「健康チェック表」は、公式練習日を含め毎日大会会場への入場時に提出すること。
    - ② 「健康チェック表」には以下を記載すること。  
出場種目 : プールサイドへの入場種目  
体温・体調 : 入場2日前、1日前、当日の3日分を記載すること。  
入場前体温 : 当日のみ  
責任者確認 : 上記の記入に間違いがないことを確認してサイン
    - ③ 回収した「健康チェック表」は返却しないので、記載内容を写真等で保管すること。
    - ④ 大会期間中、外出後の再入館の際は、入館口での検温を行うが、上記の用紙の提出は必要ない。再入館を前提に外出する際は受付でADカードに外出シールを貼り付ける。但し、ADカードに記名がない付添は、外出後の再入館の際に、提出済の「健康チェック表」の写真を提示すること。付添の変更や写真を提示できない場合は、新たに「健康チェック表」を提出すること。
  - (10) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
  - (11) 会場内は、使用エリアを限定する。立ち入りを許可された時間、エリアを順守すること。選手・付添・コーチの待機・控所・荷物置場所は、観客席のクラブ指定エリアのみとする。館内動線を守る。荷物は最小限に留め、貴重品はクラブ責任者が管理すること。
  - (12) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
  - (13) 観客席の座席は、少なくとも一つ以上空けて使用することし、赤いテープで印された着席禁止席は使用しないこと。人との距離・座席間の距離を保つこと。選手・付添・コーチの飲食場所は、観覧席とする。更衣室、プールサイドでの飲食は禁止とする。食事について、感染予防のため、観覧席で人との距離を保ち、会話を控えて単独で取ること。ドリンクは、各自で保管し回し飲みはしないこと。飲みきれなかったドリンクは持ち帰ること。
  - (14) 観客席、通路は外履きで通行すること(裸足の通行は厳禁とする)。また、プールサイドで選手は裸足、コーチは上履きの使用可。観客席からプールサイドや更衣室に移動する際は、階段上で外履きをビニール袋などに入れて保管すること。外履きでのプールサイドへの立ち入りは厳禁とする。
  - (15) 飲食物・持ち物等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。従って、靴、タオル、脱いだ服を入れる袋など自分専用のものを持参すること。
  - (16) 女子選手更衣室として、メインプール男女更衣室を使用する。男子選手更衣室として、サブプール男子更衣室を使用する。サブプール女子更衣室は JAPAN チームおよびプール職員が使用する。更衣室は、密を回避し、滞在時間を短縮のため、更衣のみとする。ロッカーを使用することはできない。更衣室内の置き荷物は、忘れ物として扱う。また競技会終了後、残った忘れ物は処分する。

- (17) 練習および競技中、プールサイドへは必要最小限の物のみ持ち込み可とする。各自でビニール袋やナップザックなどを持参し、全ての持参品をひとまとめにし、外から誰が見ても分かるようにクラブ名と氏名を大きく明記すること。  
プールサイドでの水分補給を認めるが、各自で責任をもって管理すること。
- (18) 各自でマスクを保管する袋を用意し、他人のマスクと間違ふことのないようクラブ名・氏名を明記すること。泳ぐとき以外は、原則として常にマスクを着用すること（更衣室・招集所・選手控え場所・観客席・プールサイド・トイレなど）。競技前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに、直接置くことのないよう注意すること）招集所内では、他の選手との十分な間隔をとって、マスクを外すことができるが、会話は慎むこと。使用済のマスクはゴミ箱へ捨てずに持ち帰ること。
- (19) 会場内で発声を伴うランドリルは禁止する。ランドリルをする際はマスクを着用し、音量に注意する。
- (20) コーチは、練習時プールサイドから水中にいる選手への大声での指導を控えること。競技・練習前後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。指導者同士の会話は最小限に留めること。
- (21) 観覧席退出時の片付けを徹底すること。ゴミ袋を持参し、各自が持ち込んだものから出たゴミはすべて持ち帰ること。スポンサー飲料の殻は指定場所へ分別して捨てること
- (22) 公式掲示板を2階選手入退場口観客席通路に設置する。掲示内容を確認の際は、周囲の関係者との距離に留意し、譲り合って順番を確認すること。
- (23) 本大会では2階観客席のクラブ応援席を含め、2階観客席選手席では、全て競技の撮影をすることができる。
- (24) 選手・コーチともにプールサイドでの応援・観戦は出来ない。競技時間中、選手・コーチは観客席に設けられた応援席エリア（演技しているクラブのみ使用可。演技終了後は次の演技クラブと交代）に、着席して応援ができる。拍手・手拍子は認める。大きな声での会話や、大きな声を出しての応援をしないこと。
- (25) クラブの横断幕を観客席の指定場所へ掲出できる。指定場所は【別紙4】参照  
横断幕掲出の際は、設置物を傷つけないよう注意すること。また、クラブ関係者がいない場合、設置・回収時のみコーチ・付添の立ち入りを認める。
- (26) 毎日出場する1種目めの髪上げは、できるだけ宿舎で済ませて来ること。出場2種目め以降や、宿泊なしで会場入りする場合の髪上げについては、観覧席で行うことを認める。尚、レジャーシートを持参し、広げたくて髪上げし、髪やゼラチン、ピン類で床を汚さないこと。
- (27) メイクアップは、観覧席で行うことを認める。
- (28) マッサージベッドは、次の2か所で使用ができる。  
1、サブプールのプールサイドの指定エリア。期間中はベッドを置きっぱなしにできる（持ち帰り不要）。但し、使用時間はプールサイドに入場できる各種目の該当時間内および該当競技出場者に限る。  
2、2階観客席選手出入口外側の軒下スペースに置いて使用できる。毎日持ち帰る。但し、このスペースには囲いはない。
- (29) プールエリアにガラス製品を持ち込まないこと。（メガネ、マニキュア・化粧品の瓶など）
- (30) 競技直前のメイク直しを認める。密にならないよう細心の注意を払うこと。
- (31) 競技後のシャンプー、髪下しは宿舎に戻ってから行うこと。但し、競技後、宿舎に寄らず帰宅する場合、シャワー室でのシャンプー使用を認める。シャワー室が密にならないよう各自の演技終了後、速やかに行うこと。シャワー使用後は排水溝を清掃し、詰まった髪の毛・ゼラチンは除去してゴミ袋に入れ持ち帰ること。ゼラチンはシャワーで流さず、持ち帰ること。

## 7 大会・競技について

- (1) 主催・主管・大会役員紹介  
主催：(公財)日本水泳連盟

主管：(公財)東京都水泳協会

後援団体・特別協賛・協賛各社・協力等についてプログラム参照

レフリー：小川みゆき チーフレコーダー：坂尾国香

(2) 緊急連絡先

本部宿舎 東京イーストサイドホテル権会 03-3699-1403

※責任者連絡先電話番号は、クラブ責任者宛に別途メールにて通知する。

(3) 選手・付添動線

ウォークオンライン、コーチ席、競技中の選手・コーチ動線は【競技プール図】参照  
各競技終了後、表彰式を行うため、上位3位までの入賞者は、本部席横に集合する。

(4) プールコンディション

室温・水温は、プールサイドのガードスタッフエリアに掲示される。

(5) 医療体制

本大会は、救護員が常駐し、COVID-19 Officer が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止  
および、競技役員・出場選手の感染予防にあたる。期間中、選手の健康管理は、各クラブで十分  
注意し、発熱者および怪我や体調不良があった場合は、直ちに大会本部に申し出ること（救  
護室に直接立ち入ることはできない）。その後は、COVID-19 Officer の指示に従うこと。

(6) 広報・報道対応

本大会は、報道の要望により、演技後のインタビュー取材を行う。また、表彰式後、ステージ  
上で写真撮影を行う。

(7) スポンサー提供飲料（ヤクルト）

本大会スポンサーのヤクルトより、飲料が提供される。

要冷蔵のヤクルト製品は、観客席に設置した冷蔵庫から各自で取り出し、その場で直ちに飲む  
こと（持ち帰りは出来ない）。

冷蔵庫開閉の際は、手指消毒を行い、飲料は飲み切ること。

空いた容器は、専用のゴミ箱に捨てること。ペットボトル飲料の飲み残しは、持ち帰ること。

(8) インターネット映像配信

(公財)日本水泳連盟公式 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCILyh14E7BF3MmPREE9wMEg>

(9) 競技結果の配信

競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。

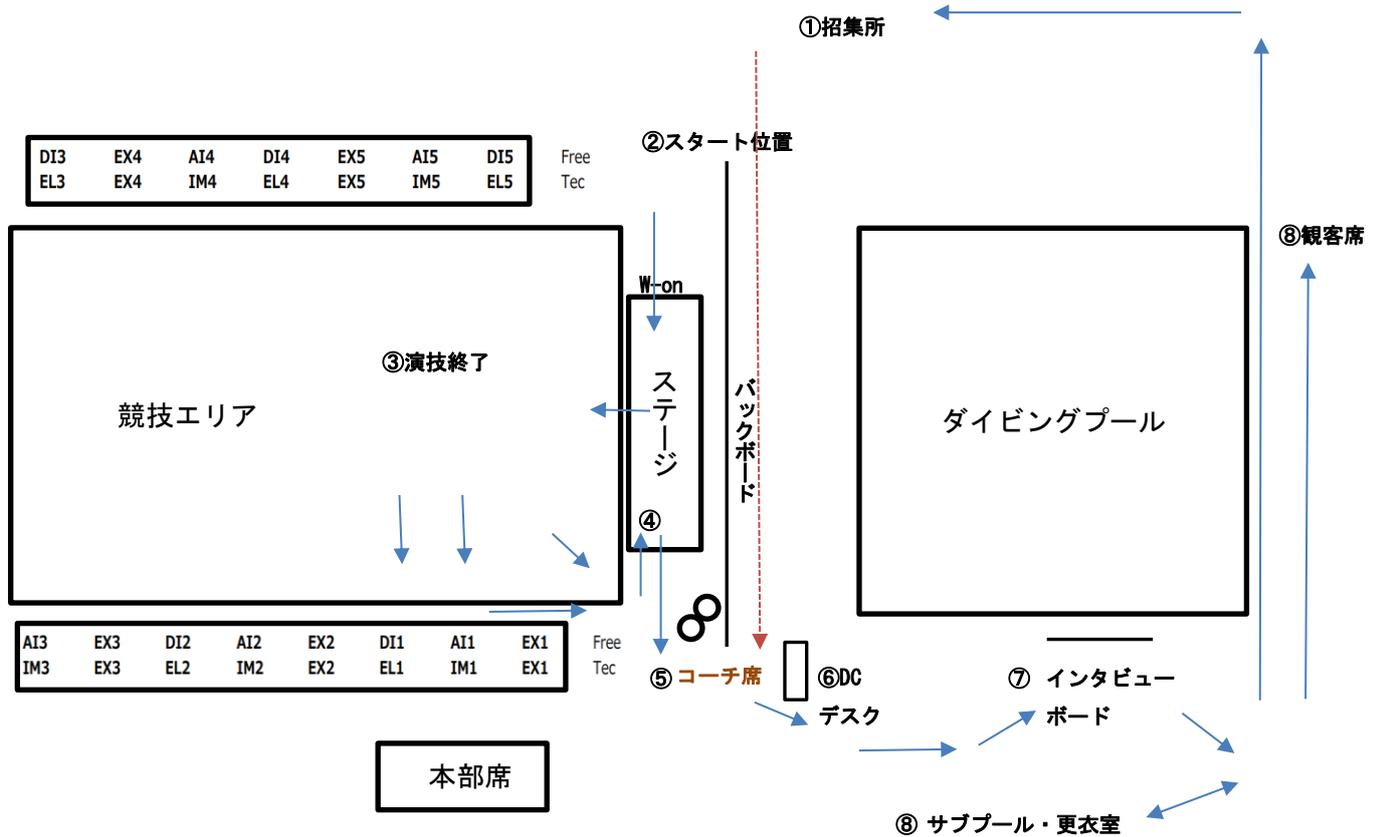
SEIKO アーティスティックスイミング・リザルト速報サービス 2022 年

<http://swim.seiko.co.jp/artistic/index.html>

※速報は WEB 掲載・公式掲示板への掲示のみとし、クラブ毎の配付は行わない。

以上

【競技プール図】



■選手

- ①招集所で点呼を受け、指示に従いADカードを提出し、マスクはコーチが保管する。  
更衣室から招集所への移動はダイビングプール裏を通る。
- ②選手は、ひとつ前の演技・音楽の終了時に、スタート位置へ移動して待機。
- ③演技終了後は、近くにあるプールサイドから上がり、ステージ上で得点を聞く。
- ④ステージ上では選手同士が密接にならないよう間隔を空けて立つ。
- ⑤コーチからマスクを受け取り着用する。
- ⑥ドーピングコントロールデスクにて、選手本人がADカードを受け取る。
- ⑦演技後、報道係員より要請があった選手はインタビューを受ける。
- ⑧ダイビング側通路からサブプールを通して更衣室へ戻る。

■コーチ

- 1、フェイスシールド・フェイスガード・アイガード等を着用し、①招集所で選手のマスクを受け取り保管する。
- 2、招集後、演技開始前に本部側へバックボードの裏を通して速やかに移動し、競技中はコーチ席で演技を確認すること。1エントリーにつき2名までコーチ席に立つことができる。コーチ席では密接にならないよう間隔を空けて立つ。
- 3、演技終了後、⑤で選手にマスクを受け渡す。

## 大会の参加に当たって

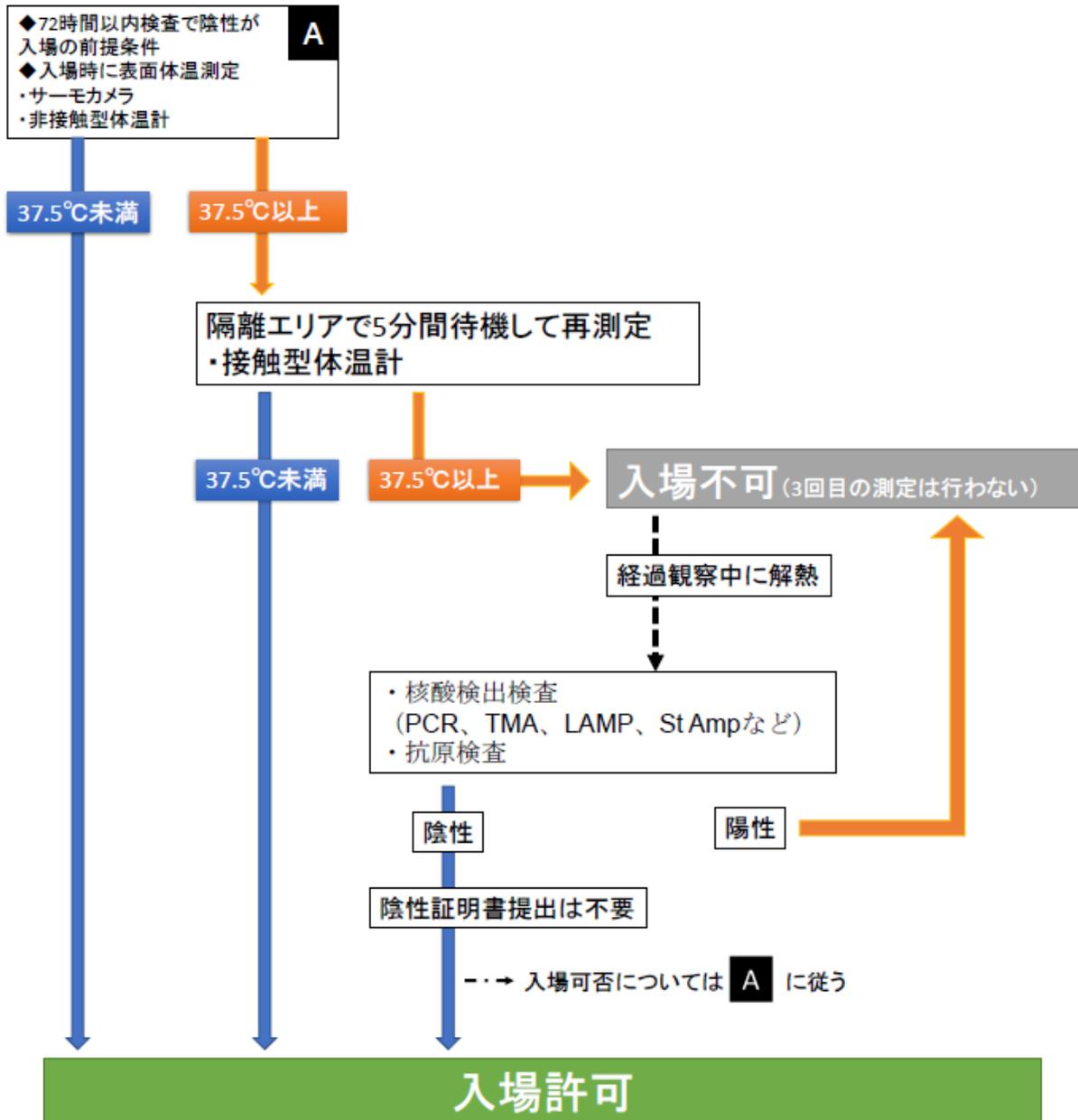
- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 本連盟ホームページの「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について」を確認した上で、参加すること。
- (3) 入館前7日間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
  - ・ 平熱を超える発熱
  - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
  - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
  - ・ 嗅覚や味覚の異常
  - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
  - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (4) 入館前14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は、入館できない。
- (5) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (6) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。
- (7) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。入場準備の際はマスクをはずしてもよい。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (8) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。競技・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
- (9) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (10) 競技終了後、ミックスゾーンの通過時、サブプールまでの移動中は、マスクを着用すること。すぐにマスクを着用できない場合は、ミックスゾーンの手前で、呼吸を整えてから着用すること。
- (11) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。
- (12) 食事は、選手控え場所・観覧席のみで、人との距離（2m以上）を保ち単独で取ること。
- (13) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (14) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
  - ・ チーム共有の、ドリンクサーバー、アイシングバス
  - ・ メガホン
  - ・ チーム共有のストレッチマット、チューブ、バランスボール、トレーニングバイク等の運動用具（個人専用は持ち込み可）
  - ・ メインプールへのパドル・コード類（サブプールは可）

## 本競技会におけるドーピング検査について

アンチ・ドーピング委員会

- ・ 本競技会では FINA ルールに則って JADA によるドーピング検査が行われます。
- ・ JADA ではドーピング検査における新型コロナウイルス感染症対策を、世界アンチ・ドーピング機構のガイドラインに則り実施されます。
- ・ 決勝競技に限らず、出場する競技者は全員が検査対象になる可能性があります。
- ・ 検査対象に選ばれるとシャベロンや DCO と呼ばれる検査員から「〇〇選手ですね、ドーピング検査の対象になりました」と通告があります。クールダウンや表彰式などを優先してかまいませんが、通告後は可能な範囲で速やかに検査室に向かうようにして下さい。
- ・ 尿検査または血液検査またはその両方が実施されます。詳細は通告時に説明されます。
- ・ 18 歳未満の競技者は通告の時点から、必ず成人の同伴者（コーチ、監督、トレーナー、チームメイト、家族など）を 1 名付けて下さい。18 歳以上の競技者でも、同伴者を 1 名付けることが出来ます。
- ・ 2021 年から 18 歳未満の競技者に対する親権者の同意書は JADA が直接取得することになりました。検査時に同意書の提示を求められますが、事後の郵送も受け付けています。過去に 1 度でも提出していれば繰り返しの提出は不要です。詳しくは検査時に JADA 検査員にお尋ねください。
- ・ 競技終了後は速やかに AD カードを受け取ってください。多くの通告はこの AD カード返却の際に行われます。
- ・ 特に団体競技では AD カードの返却場所が混み合いますが、正確でスムーズな通告を行うためにも、AD カードは本人が自分のものだけを持っていくようにしてください。
- ・ 検査室に入った後も、用事があれば一時的な退室が可能です。検査終了前の一時退室にはシャベロンや検査員の付き添いが必要になりますので、競技者だけで検査室を離れないで下さい。
- ・ 検査に時間がかかっても、検査未了のまま検査を拒否することは出来ません。
- ・ 検査室は医薬品の使用の可否を質問する場所ではありません。日本水泳連盟ホームページの「薬の相談窓口」から問い合わせるなど、事前に対策して下さい。

## 入館時の判断基準



【別紙4】

横断幕指定エリア

クラブ関係者席側観客席

プールに向かって座席番号 A2 列目 33 番～後方 B11 列目 33 番 より左側のエリアとします。

